



一人でも多くの人に安心を
そして…希望を！

北見市議会議員

菊池ごういち



党北見市
委員会



1955年美幌町生まれの71歳。美幌高校を経て1977(昭和52)年北見工業大学工学部開発工学科卒業。(株)中神土木設計事務所13年間勤務。1991(平成3)年北見市議会議員初当選(以後連続9期)。現在党北見地区副委員長、北見市議会総務教育常任委員、議会改革特別委員会委員

私は、みなさんのご支援で1991年の初当選以来35年間、市民の声を市政に届けること、市民のみなさんの運動と力を合わせて要求を実現することを信条として活動してきました。辻市政の「市民サービスのゼロベースでの見直し」で財政健全化最優先に対し、「常に市民の立場で市民とともに進める」ことを貫いて頑張ります。

市民との対話を大切に、市民の暮らし、安心をまもるために力いっぱい働きます。

私の活動原点

ある高齢者の相談を受けました。「家族の問題が絡み、誰にも話せなかった」と。私とその相談に困った顔をしていたのか、相談者は「困らないで。お願いしたことがダメでも、今日あなたに聞いてもらえてとても嬉しかった」と。

その時から、市民に話していただける議員、また市政でありたいと、『一人でも多くの人に安心をそして…希望を！』のフレーズを掲げるようになりました。

くらしに安心と希望を

日本共産党市議団の活動

市政のチェック役として

日本共産党の調査で市財政危機の2年前に市長は令和3年7月の市財政健全化本部会議で一般会計に流用する基金が3年後に枯渇することを認識し、流用の減額を考える必要性を確認しました。

この時点で、問題の重要性を理解し、

議論と方向性を定めて決断していれば、市民と議論を進める時間的余裕をもつことができ、財政健全化プランも、いきなり削減とは違う、別のものができた可能性が充分ありました。

市民の声を受け止めて

財政問題で「市民の声を受け止めてほしい」とアンケートを求める市民の陳情を市は拒否。党北見市議団がおこなった市民アンケートには20,000枚の配布に約1千人から怒りや要望が次々と寄せられ、すぐに議会でもその内容を取り上げ、「市民の声」だとして使わせていただきました。

質問2 北見市の財政健全化(複数回答可)							
設問内容	1. なぜこうなったか市は説明をしていない	2. とにかく健全化を進めてほしい	3. もっとゆるやかにしてほしい	4. アンケートや説明会で意見を聞いて	5. 住民負担が重たすぎる	6. よくわからない	7. その他
回答数	601	269	86	121	456	57	36
回答率	62.6%	28.0%	9.0%	12.6%	47.5%	5.9%	4.4%

20,000世帯に配布(回答者960人)

困っている人・弱い人に寄り添って

市民からの切実な相談を何件も受け止め、粘り強く取り組む中で実現しました。

市営住宅の改善へ

○市営住宅入居は单身者も年齢制限なく全面的に可能に、○連帯保証人なしでも入居が可能に、○お風呂屋さんが利用しにくい生保世帯の風呂設備費公費負担に

子ども医療費無料化前進

議会では共産党市議団だけが無料化を主張する状況の中、他市町村と大きく遅れをとる状況になっていました。

市民の運動が一気に広がる中、ついに、市長と議会を動かし高校生世代まで無料化が実現しました。

国や道にも堂々とモノを言える議席



「国や道の制度だから仕方ない」ではなく、市民の現状や願いに立って、国や道に対しても市民の思いを訴えてきました。

命に関わる国民健康保険の「保険証取り上げ」は、繰り返し議会でも訴え改善を求める中で、ついに国が「取り上げてはならない」と指示することに。

毎年、議員団として市民の要求を掲げて道と交渉しています。



命と暮らしを守るために

あなたの声を届けます

日本共産党

菊池ごういち

1 高齢者が安心して 住み続けられる北見へ

▶介護保険制度のこれ以上の改悪に反対

医療・介護の負担増はまさに命に関わる大問題です。介護保険の国庫負担をせめて10%増やすことを求めます。

▶一人でも安心して暮らせる地域づくり

高齢者はどうしても孤立になりがちで、自分からの相談も苦手です。このような時に、行政として情報や悩み事でどうつなげるかの仕組みの構築を求めます。

▶地域医療・地域交通体制の充実を求めます

妻が入院中で年金の半分が消費。自分が我慢して体調崩しても医者にかかれぬ。困ったものです。(90代)

親族がいなくて独居老人は家を借りられない。病院の同意書に親族の名前を求められても困る(60代)

北見常呂線のバス路線を元に戻してください。温泉利用や買い物ができなくなりました(常呂住民)

2 現役世代応援で街に希望を



▶子どもの国保料均等割をゼロに

子ども一人に年間37000円もの国保料均等割。子育て世代には大きな負担です。国保基金には約4億円の積立があり、これを活用すれば高校生まで均等割をゼロにできます。

▶地域経済の担い手、中小企業を支えます

地域特有の条件を生かした産業振興、中小業者への経営相談体制の強化、シルバー人材の支援など労働力確保などに取り組みます。

**「財政健全化
プラン」**

市民の命と暮らしを守る立場で 市民の声を十分反映して決定を

市が進める「財政健全化プラン」は市民の暮らしに大事な、図書館分館やトレセン、高齢者福祉会館など公共施設の廃止、学校教育予算の大幅削減など急激すぎて、市の責任放棄です。また、ゴミ袋など50%の使用料値上げも異常です。

関心ある市民が集まって、説明と意見を聞いた後にこれを議会に報告して議会議論を求めます。

どうして市は議会で議決してから、市民に説明なのか。本来、市民の声を先に聞くのではないのか(議会傍聴者)

3 市民の声をとり上げ住民参加の街づくり

▶すべての人権を尊重する共生社会へ

国籍などの壁をなくし、だれもが暮らせる街づくりを進めるために、言葉や文化の交流で相互理解を進めます。

▶市民の声が届く議会へ

党市議団は定例議会ごとに市政報告会の実施、市議会通信や北見民報の発行など通じ市民のみなさんの声やご指摘等も受け止めてきました。

引き続き気軽に参加できる市政報告会に取り組みます。また市議会としても実施を求めます。



市議団は定例会ごとに市政報告会をおこなっています

4 安全で平和な暮らし、戦争も災害もない北見へ

▶非核平和都市宣言と平和な街づくり

非核平和都市宣言を採択した市として、外交力で核兵器も戦争もない世界をめざすことを発信し続けます。イランへのアメリカとイスラエルの攻撃中止を求めます。

▶災害に強い安心安全の街づくり

水害や雪害などの自然災害に備え、防災計画の見直しと避難所の充実を図ります。

留辺蘂高校が閉校になって、いざ災害の時にどこに避難したらいいのか…(留辺蘂住民)



去年の大雪は買物や通勤にも大きな影響を与えました。「除雪開始が遅い」の声多数

▶間口除雪と年に一度の排雪を

玄関前に置かれる除雪車の残雪は高齢者やハンディキャップのある方には大きな障害。生活道路の間口除雪と年に一度の排雪込みの除雪で住み続けられる地域をつくりたい。

不十分な除雪で十字路から右折・左折に走行車が見えず危険です(60代)